



マックスフォース マグナム を使用したチャバネゴキブリ実地効力試験 ①

物件概要

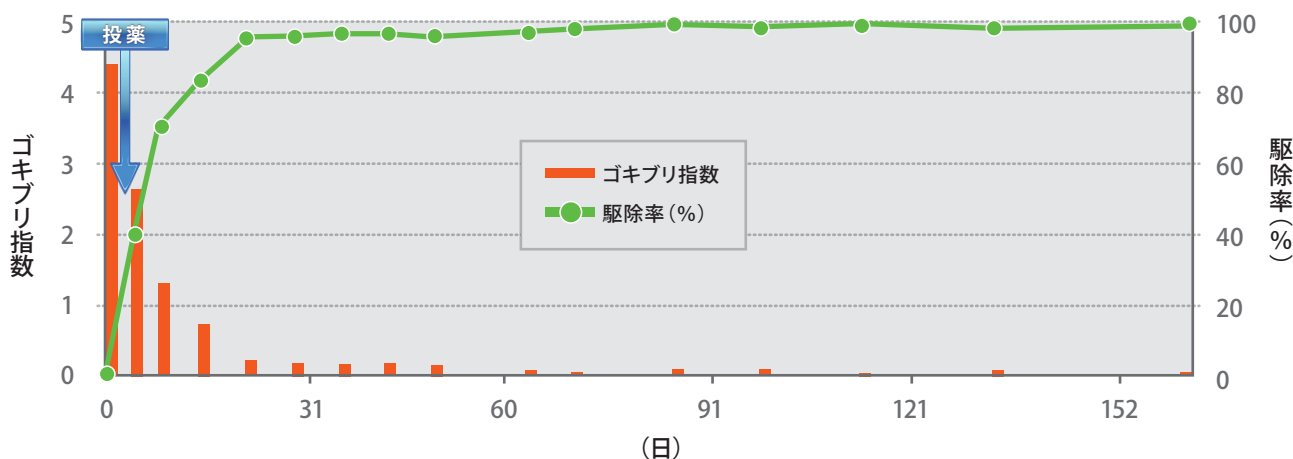
Y市内飲食店、111.3㎡ (平面図、裏面)

試験概要

試験開始前7日間のごキブリ指数を調査し、試験開始日にマックスフォース マグナムを0.4gを注入した誤食防止容器を、1個/㎡の割合で111個を設置した。その後、4-29日間隔で、160数日にわたって、粘着トラップによるゴキブリ捕獲数を調査し、その推移を観察した

試験結果

試験開始前には、4.38という高いゴキブリ指数であったが、4日後：2.63、8日後：1.29、14日後：0.72、21日後：0.19と徐々に落ち、その後は162日（約5.8ヵ月）にわたって低い指数を維持した。21日後以降の駆除率も同様に高い推移（95%以上）であった。



$$\text{ゴキブリ指数} = \frac{\text{全捕獲数}}{\text{全トラップ数} \times \text{設置日数}}$$

$$\text{駆除率} = \left(1 - \frac{\text{駆除後のゴキブリ指数}}{\text{初回時のゴキブリ指数}}\right) \times 100$$

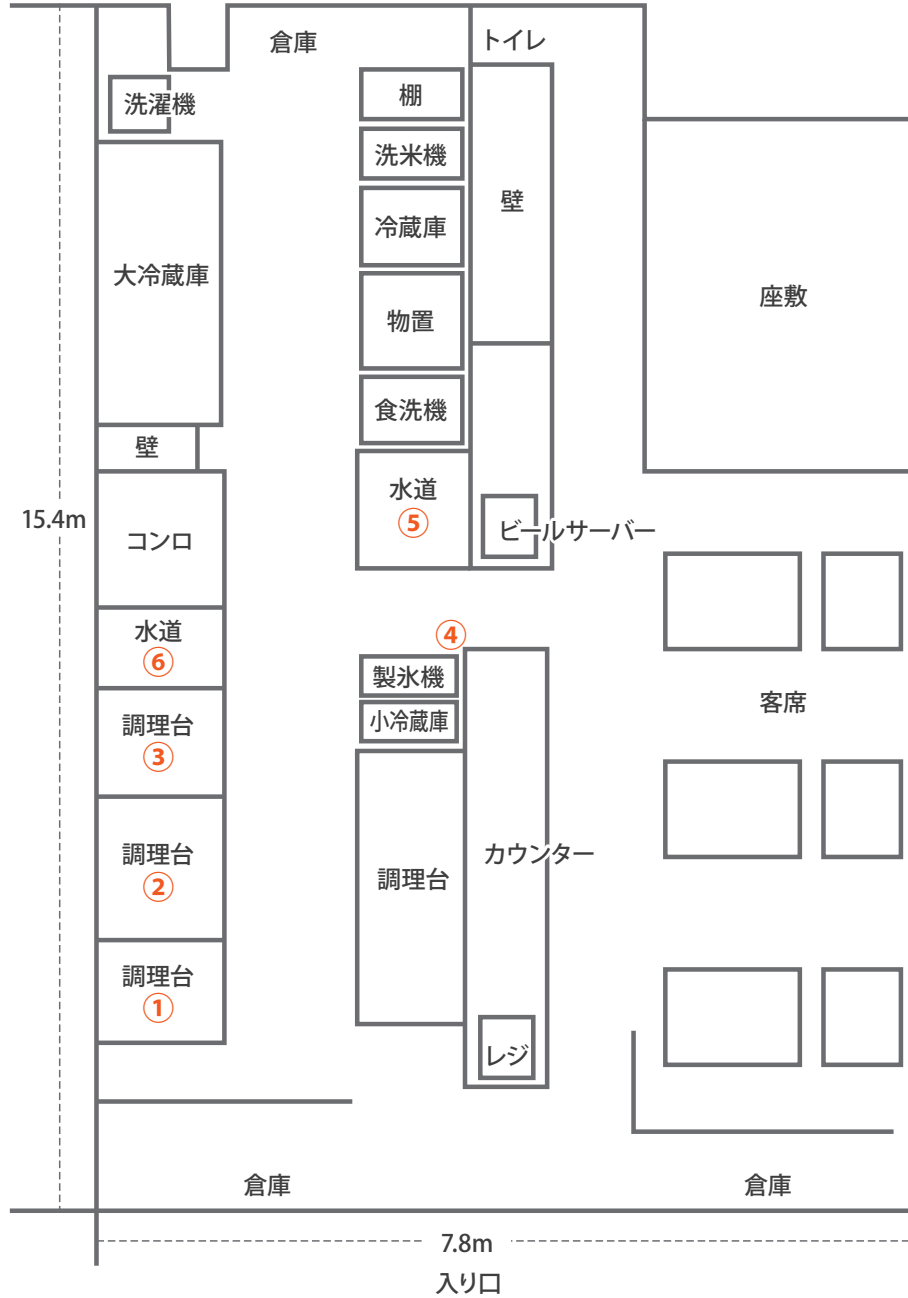
考察

マックスフォース マグナムは高い初期ゴキブリ指数4.38の場合でも、1回の投薬で、ひと月以内で非常に低いゴキブリ密度に落とすことが可能であり、また、条件が整えば、その効果も長期間持続することが示唆された。

試験機関

(財) 日本環境衛生センター

設置箇所



■ 実地試験概要 (床面積: 111.3㎡)

①～⑥:トラップ番号